

平成 29 年 12 月 28 日

釜石市議会議員 佐々木 義 昭 様

会 派 21世紀の会
代 表 木 村 琳 藏
後 藤 文 雄
報 告 者 千 葉 榮



「 会 派 視 察 報 告 書 」

当会派所属議員による視察報告を下記のとおり実施しましたので、報告いたします。

1 【 視 察 項 目 】

- (1) 下松市
「まちづくり」について
- (2) 鋸南町 保田漁協視察
「漁協管理と地域活性化」について

2 【 視 察 日 程 】: 平成 29 年 11 月 8 日 (水) ~ 平成 29 年 11 月 10 日 (金)

- (1) 視察行程
 - ① 平成 29 年 11 月 8 日 (水) ※ 山口県下松市へ移動日
 - ② 平成 29 年 11 月 9 日 (木) ※ 下松市役所で視察研修 (終了後、千葉県安房郡鋸南町へ移動)
 - ③ 平成 29 年 11 月 10 日 (金) ※ 保田漁業協同組合で視察研修終了後、釜石市へ移動日

3 【 参 加 者 】

- (1) 「21世紀の会」
 - ・ 木 村 琳 藏 (代 表)
 - ・ 佐々木 義 昭
 - ・ 後 藤 文 雄
 - ・ 千 葉 榮



4 【相手方】

- (1) 下松市役所 山口県下松市大手町3-3-3
- (2) 保田漁業協同組合 千葉県安房郡鋸南町99-5

5 【研修概要】

(1) 研修日及び研修課題

- ① 平成29年11月9日(木)(下松市役所)
 - ・午前9時00分～午前11時30分
 - 「まちづくり」について
- ② 平成29年11月10日(金)(保田漁業協同組合)
 - ・午前9時30分～午前11時00分
 - 「漁港協管理と地域活性化」について

(2) 視察先対応者

① 下松市

- ・国井益雄市長
- ・(市議会議員)
 - 磯部孝義議員・山本朋由議員・松尾一生議員・村田丈生議員
- ・(議会事務局)
 - 原田克則事務局長・引頭朋子係長
- ・(産業観光課)
 - 中山昇課長
- ・(企画財政部)
 - 瀬来輝夫次長兼課長・中村一雄係長

② 安房郡鋸南町

- ・(保田漁業協同組合)
 - 蛭田準組合長・小林慶士事業部長・生貝和三会計主任
- ・(保田漁協ばんや株式会社)
 - 中村伸一店長

(3) 視察に取り上げた理由

① 《下松市》

下松市は、当市が東日本大震災で被災して以来、多くの義援金や物資支援を受けました。

当市・恒例の「味覚まつり」や定期的に催事や各種イベントで官民の交流を

してきた。その交流の中で近々、災害協定を締結する方向にきており、また、震災後、毎年義援金や物資の提供を受けている事から表敬の意味を含め視察する事にした。

また、町の特徴として、全国人口流出の傾向にある地方都市の中で人口を増やし、住みやすい町ランキングで、毎年、上位にあり、その環境や背景を視察、研修し、その魅力を当市に活かしたい。

② 《 鋸 南 町 》

平成23年3月11日、東日本大震災津波によって浸水した地域の中で、従来、当市の経済流通等を牽引し、歴史や文化の中心にある東部中心市街地が壊滅的な被害を受けた。当市では現在、大町周辺を復興まちづくりのマスタープランとして、FP1「にぎわい創出の場」FP2では、現市役所周辺を「公共施設エリア」、FP3、魚河岸地区では、「にぎわい」を創出し、震災以前の元気を取り戻す方針で復興事業を進めてきた。そのFP3のにぎわい施設は新魚市場に隣接するため、当然、水産振興と連動した施設内容としなければならない。今回、町への視察ではあるが、魚の町という点や歴史的な背景が似ている点から、千葉県安房郡鋸南町の保田漁業組合の「漁村のふれあい構想」を視察し、当市においても、にぎわいを創出したいと考えた。

6 【 研 修 内 容 】

◎ 《 下 松 市 》

「午 前 9 時 0 0 分 ～ 1 1 時 3 0 分」(まちづくりについて)

ア 「開 会」

引頭朋子議会事務局係長の進行で開始した。

まず、瀬来輝夫企画財政部次長兼課長のあいさつがあり、東日本大震災の被災地へのお見舞いと、今日は、この研修が参考になればよいと思う等のあいさつをいただいた。

イ 「21世紀の会代表あいさつ」

木村代表が研修視察受け入れ、及び釜石市への支援・義援金のお礼等のあいさつをした。

ウ 「下松市のまちづくり及び概要説明」

(瀬来輝夫 企画財政部次長兼課長・中山昇 産業観光課長)

下松市のまちづくり及び概要説明について、別添資料(下松百花)によ

り説明を受ける。

エ 「主な質疑応答」

別紙のとおり

オ 「その他」

研修終了後、磯部孝義議員（㈱日立製作所 鉄道ビジネスユニット笠戸事業所 職員）の特別な配慮により、事業所内を見学させて頂いた。

日立製作所は英国の都市間高速道計画の車両製造などに関する契約を締結しており、現在、事業所では、ロンドンから西部の主要都市を結ぶグレート・ウェスタン・メイン・ラインと北東部の主要都市を結ぶイースト・コースト・メイン・ラインを走るClass 800シリーズと呼ばれる高速車両（新幹線車両）を製造しており、下松で造った鉄道車両が鉄道発祥の地である英国を走ることへの思いと車両製造に携わる従業員のものづくりに対する思いが強く感じられた。

カ 「視察所感」

下松市は、全国人口流出の傾向にある地方都市の中で人口を増やし、住みやすい町ランキングで、毎年、上位にあり、その環境や背景を視察、研修し、勉強させて頂くために訪問させて頂いた。

下松市は、山口県南東部の瀬戸内海に面して、山口市から南東へ約40kmの位置にあり、東西12,7km・南北20,6km、面積89,35kmの市域を有している。

また、笠戸大橋によって本土と結ばれている笠戸島は、風光明媚な景勝地であることから、瀬戸内海国立公園に指定されており、観光やレクリエーション、リゾート地として広く利用され、栽培漁業の拠点としても活用されている。

そして、下松市の人口は毎年少しずつ増え、平成10年から平成25年までに1,000人以上増加しており、住んでよし、働いてよしの便利な環境が整っており、市民、子供たちが豊かに安心して暮らしている市にしたいという意気込を感じた職員の説明であった。

当市においても、今後、人口減など、さらに厳しさを増す社会経済環境のもとで、市民をはじめ、市と民間事業者などが力を合わせ課題の克服や新たな地域創造に取り組む必要性が肝要であると感じた。

◎ 《 鋸 南 町 》

「午 前 9 : 3 0 ~ 1 1 : 0 0」(漁港管理と地域活性化について)

ア 「開 会」

小林事業部長の進行で開始した。

イ 「保田漁協管理と地域活性化及び概要説明」

(小林事業部長)

「保田漁協管理と地域活性化及び概要説明」について、別添資料(漁協管理と地域活性化・～拓かれた漁港の取り組みと課題～)により説明を受ける。

ウ 「主な質疑応答」

Q : 魚食普及食堂「ぼんや」をオープンするきっかけは。

A : 当組合は、以前、ヒラメの養殖を行ったが、経営に行き詰まった経験があり、そのときの教訓から「出荷しても人(水産会社)に売ってもらっている限り、うまくいかない」つまり、下請けでは大成しないことを学んだ。

今後、「組合独自で直接販売、あるいは直接消費者に提供できる事業を考えなければならない」ということを痛切に感じたのと、直接消費者に伝えたいという思いが、魚食普及食堂のきっかけとなった。

Q : 年間利用者がかなり多いようだが、材料など地元だけでは、大変な気がします。材料の手配はどのようになっているのか。

A : 近隣の漁協から仕入れるなどの努力と新鮮な魚を提供するため、仕入れができない場合は売れ切れとした。

※その結果、次回来たら食べたい気持ちを利用者に与える効果があった。

Q : 地元への波及効果は。

A : 地元食材、周辺漁協の漁獲物の活用、また、今までは、仲買人が入札購入していたが、漁協も入札に参加することで魚価の低迷に歯止めがかかるなど、地元の食材を買い付けることで地元が潤った。

※ 参考 : 平成27年度の利用者は45万人。

Q : 職員、従業員は、地元の雇用なのか。

A : 平成27年度で、職員及び従業員(パート)は100名で、全員、地元の採用である。

エ 「視 察 所 感」

鋸南町・保田漁協は、現在、保田漁協都市と漁村ふれあい構想ということで、水揚げした魚介類の単なる販売にとどまらず、海洋レクリエーションに着目している。そして、人を相手にした第3次産業に着手し、「魚のことを誰よりもよく知っている」という漁師の強みを消費者へ直接伝える食堂やプレジャーボートの受け入れを行うことで来客が急増した。そのうえ、地元の水揚げされた鮮魚の付加価値が約3倍に向上し、漁業者の所得向上や地域の雇用拡大など漁業者経営の安定に貢献するなどの功績をつくった。そして、平成7年7月から地位活性化の骨格となる漁業普及食堂「ばんや」を開業し、その歩みを始めてから平成28年度までに取り組みを通じて、年間40万人の交流人口と年間売り上げ6億円までに成長した。

当市においても、平成26年2月に取りまとめた魚河岸地区周辺にぎわい創出施設整備事業基本計画を踏まえ、魚河岸地区周辺にぎわい創出施設釜石湾観光拠点及びイベントの拠点施設として、地域で生産される水産加工品の展示や販売、釜石で取れる魚の教育や食育の情報発信を行い、市民や観光客が、海の恵みによって育まれてきたまち釜石を満喫できる施設を目指している。今後も、いろいろ議論を交わし、会派としても本研修を釜石市民のために活かしていきたい。

7 【その他】

別添、写真、資料参照